

申し込「2020年度冬期対策検証に基づく申し入れ」団体交渉②

共通7項

GV-E400系が輸送障害等で2時間以上停車する場合の対応を明らかにすること。

- ・お客さま救済を最優先とし、**長時間の停車が見込まれる場合は殺車対応**になる。
 - ・殺車した場合は留置手配し、乗務員も降りることになる。
- 組合) 体調管理を考えた場合に殺車留置と同時に乗務員を降車させるべきである。

8項

秋田総合車両センター南秋田センターからの出区車両がポイント不転換等で遅れる場合、乗継ぎの乗務員は状況が分からないままホームで待機しなければいけないため、情報提供として駅の一斉放送等を活用すること。

- ・お客さまへの放送案内と同様の情報しか伝えられないのが現状である。
- 組合) 寒い中で、いつ来るか分からないまま待機していることが課題であり、健康の問題がある。
- 会社) 所在が分からなくなるのが一番の問題であり、**ずっとホームで待機ではなく駅で情報をもらいに行っても良い。**

県南1項

大曲駅乗務員詰所の喫煙所が除雪されていないため除雪すること。また、喫煙者が自分で除雪できるように除雪用具を置くこと。

- ・定期的に除雪することは難しい。
- ・自分で除雪するのであれば**用具を置くことを検討したい。**

2項

大曲駅構内での入換信号機の除雪を運転士が指示されることがあったため、構内除雪の担当を明確にし徹底すること。

- ・**基本は駅が対応することになる。**
- 組合) 基本に則て対応するよう指導するべきである。

3項

大曲駅構内上下線停車中の列車に対して下回り点検や手歯止め装着の指示があったため輸送指令での教育を行い徹底させること。

- ・上下線ともに流雪溝があり冬期間は降車できないことを確認した。
- ・降車できないため**異常時は列車看視での対応**となる。
- ・輸送指令にも冬期の勉強会等で周知していく。

4項

横手駅構内の指定通路が積雪で壁になっていた。歩行者がいる場合、運転士から見えず危険なため定期的に排雪すること。また、指定通路が分かりづらいためカラスプレー等でマーキングすること。

- ・定期的に行っているが、現状の通りである。
- ・**危険な箇所という認識は同じである。**

5項

横手駅上りホーム上の積雪が多く、車掌の状態看視が出来ないため排雪等の対策を講ずること。

- ・除雪が追いついていない状態だった。
- ・他にも除雪しなければいけない箇所があるので優先順位を見て行う。可能な限り見ていく。
- ・状態看視については雪の状況の注意して行ってもらいたい。